

令和 4 年度

事業所番号

0173

事業所番号

017300

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	
A	A…原油換算エネルギー使用量が年間1,500KL未満の事業所(合算)

(2) 事業所及び事業内容

代 表 事 業 所 名	新電元工業株式会社 飯能工場	前年度における事業所数	2
代 表 事 業 所 所 在 地	市 区 町 村 飯能市	字・地番	南町10番13号
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の集合のみ記入)			
産 業 分 類 名 (中 分 類)	29 電気機械器具製造業		
分 類 番 号 (中 分 類)	29		
事 業 活 動 の 概 要	閉鎖拠点。建物維持・管理の為にエネルギー消費あり。		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計 画 期 間		2	年 度	～	6	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排 出 量		t-CO ₂	基準となる 原 単 位	t-CO ₂ /
		両事業所とも閉鎖拠点であり事業活動は行っていない。拠点の収束として、受変電設備の閉鎖や建屋解体を段階的に進めていく。				
	その他ガス					

(2) 第4計画期間の削減目標

計 画 期 間		7	年 度	～	11	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排 出 量		t-CO ₂	基準となる 原 単 位	
		現時点で、拠点の完全清算日程は未定				
	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	新電元工業株式会社 飯能工場	飯能市南町10番13号
2	高麗工場 残務整理中	日高市梅原35
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和 2 年度 [2020年度]	令和 3 年度 [2021年度]	令和 4 年度 [2022年度]	令和 5 年度 [2023年度]	令和 6 年度 [2024年度]
	3,617	1,059			

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 [2020年度]	令和 3 年度 [2021年度]	令和 4 年度 [2022年度]	令和 5 年度 [2023年度]	令和 6 年度 [2024年度]
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	基 準	7,122	2,072			
	前 年 度 比 （ % ）	—	-70.9			
	基準となる排出量に対する 削 減 率 （ % ）					
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂					
	メ タ ン					
	一 酸 化 二 窒 素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六 ふ っ 化 い お う					
	三 ふ っ 化 窒 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		7,122	2,072			

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 [2020年度]	令和 3 年度 [2021年度]	令和 4 年度 [2022年度]	令和 5 年度 [2023年度]	令和 6 年度 [2024年度]
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂ 排 出 量 原 単 位	基 準					
	前 年 度 比 （ % ）	—				
	基準となる原単位に対する削減率 （ % ）					
活 動 規 模 の 指 標 単 位						

（４）エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 〔2020年度〕	飯能工場はC事業所として活動しており、別途報告済。 高麗工場は、関係会社である「新電元スリーイー」所有であり、当社非保有。
令和3年度 〔2021年度〕	飯能工場を2021年度中に閉鎖したことより、A事業所に転換。 高麗工場を2021年4月1日付で当社承継したことより、A事業所として計上。 A事業所群としての資料作成は2021年度実績より開始する（2022年度以降報告）。 飯能工場においては、2020年度までの事業活動を停止したことによりCO ₂ 排出量は激減。 現時点では建物の維持管理による排出のみ発生している。 高麗工場においては、当社としての管理初年度ではあるが、飯能工場と同様に閉鎖事業所であり、建物の維持管理による排出のみ発生している。
令和4年度 〔2022年度〕	
令和5年度 〔2023年度〕	
令和6年度 〔2024年度〕	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	330200	空調調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	各種老朽化機器の更新	21年度	21年度	565.0
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	各種照明のLED化	21年度	21年度	60.0
3	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	各種実験用炉等の運用見直し・更新等	21年度	21年度	71.0
4	150100	受変電設備、照明設備、電気設備	15_受変電設備の管理	受変電設備の段階的閉鎖によるエネルギー削減	F5		500.0
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

（※希望者のみ記載）

自由記述欄